

「関東の雪 (2)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

関東地方全域に雪を降らせた南岸低気圧。今回は、東京でも雪になり、初雪の観測となった。まずは、通勤中に積雪の様子を「観察」してみた。



これは、自宅（江東区越中島）から、門前仲町駅に向かう歩道である。すでにみぞれが降っていて、道がグジャグジャ。せっかく履いてきたスノー・シューズも役に立たず、靴下まで完全に浸水してしまった。普段駅まで5～6分なのだが、この日は10分以上かかった。



これは実は非常に珍しい写真。大手町駅に雪をのせた地下鉄が停まっている（→の白い筋が雪）。この電車は、東陽町始発で、発車直前まで屋外の車庫に停まっていたので、雪がとけずに大手町まで来たのだ。門前仲町では、屋根が真っ白だったのだが、その後走行中に落ちてしまったようだ。



大学前の大塚二丁目バス停。江東区に比べると、雪がほとんどとけておらず、かえって歩きやすい。少し内陸に入るだけで、これだけちがうのに驚いた。



大学正門の郵便ポスト。郵便ポストは、上面の面積が決まっているので、雪や火山灰の「単位面積あたりの重量」の測定に都合がいい。下は大学のイチヨウ並木。このあと、教員総動員で雪かきをがんばった。

